かみのやま 歴史・文化財さんぽ

第４６号（令和４年１２月）

金生田植踊り

かなおいたうえおどり

あゆむ「踊りを見に行くんだって？」

ミドリ「そう、“金生の田植踊り”よ。」

ふみお「以前に見た“高松観音の餅つき行事”と同じように、市の無形文化財に指定されているんだ。」

あゆむ「あの餅つきは迫力があったなあ・・・。」

ミドリ「祈りとか願いが込められて力強く生き生きとしていたわね。」

あゆむ「どんな踊りなんだろうな。」

文じい「ふむ。前に上山城で踊った時の様子の写真を持ってきた。」

ミドリ「うわあ、きれいで華やかな衣装ね！」

あゆむ「ピンクの編み笠をかぶっている人もいるね。女の人かな？」

ふみお「前の３人は、大きな身振りの踊りだね。」

文じい「あと、脇の方には、笛や太鼓、唄い手の囃子といわれる方もいる。」

あゆむ「ふうん。今日はそれを見ることができるんだね。」

文じい「いやいや、お踊りを披露するのは特別な場面になるので、今日は、練習の様子を見せてもらう。」

あゆむ「あ、そうか。お、地区の人たちが次々に集まってくる。」

文じい「会長の酒井さんや、副会長の五十嵐さん達にご挨拶をし、お話を聞いてみよう。」

ミドリ「こんばんは、よろしくお願いします。」

ふみお「いろんな道具があるね。太鼓とか笛とかの楽器に、棒などもある。」

ミドリ「打ち合わせや準備、練習も少しずつ始まったわ。」

あゆむ「何だか雰囲気が出てきたな。」

ふみお「道具ごとにグループがあるみたいだね。」

ミドリ「あの、編み笠のようなものは“花笠”と言っているようね。それをかぶるグループは“早乙女”と言うらしいわ。」

あゆむ「乙女なんて言うと、やっぱり女性じゃないの？」

ミドリ「女性の役を、男性がやるんだって。手に箸のような棒を持っているし、別の写真を見ると、扇も持っているわ。」

ふみお「保存会の遠藤さんがまとめてくれた説明

の本によると、早乙女は、田植えをする女たちの姿で、花笠は菅笠。笠の上にサクラの花を飾り、それに、写真のような衣装。持ち物は曲目によって変えるらしい。箸のような棒は“綾竹”というものらしい。もしかしたら苗を表しているのかな。」

ミドリ「そうすると、これは、苗とりや田植えをする早乙女が中心になる踊りなのね。」

文じい「フフフ、その通りじゃの。女性は、子供を産むという大事な力を持っておる。だから、稲を実らせるための田植えは女性でないとだめだというわけじゃの。」

あゆむ「ふうん。でも、中心には太鼓を持った人、そのわきに、長い棒を持った人が大きく動いているよ。」

ふみお「うん、そうだね。説明には、中心で太鼓を打つ人を“中太鼓”と言って、踊りの主役となっている。植える苗を配る作業をしていて、田植えの調子を取っているということらしい。」

あゆむ「なるほど。それで、棒を持った人は？」

ふみお「“源内棒”という役。苗を運び、棒で田植え縄を張る姿をあらわしていて、早乙女達に指示している様子なども表しているらしい。」

文じい「源内棒が持っている棒は、“テデ棒”と言ってテデ（父）の棒。“えんぶり”と言っているところもあるし、“突き棒”と言った方がいいという研究者もおられる。」

ふみお「それから、向かって右手には、中太鼓に合わせて打っている“陰太鼓”。唄い手の“囃子”。それから、“横笛”。それに、全体の進行や指導をする“世話係”などの役目がある。」

ミドリ「佐藤さんの三味線も入るんだって。」

あゆむ「踊りの内容はどうなっているのかな？」

文じい「❶お正月、❷思う人、❸それはや　などの８つの演目となっていたらしいが、現在はこの３つになっているという。」

ふみお「途中で、“ほめ言葉”が観客の中から出てきて、それに、“返し言葉”が入るという。」

ミドリ「まあ、面白いわね。」

あゆむ「ところで、この踊りを南小の子どもたちが教えてもらっているんだって？」

文じい「そう、それでそれも見に来てみた。」

ミドリ「うわあ、すごく元気ね！　楽しそう。」

あゆむ「このような踊りは、いつごろから始まったんだろうな。」

ふみお「説明には、土岐頼隆という殿様が上山に来られたとき、それを祝って演じられたのが始まりということらしいけど・・・。」

文じい「ふむ、そのときは“田楽踊り”という別の芸能で、金生の踊りはもう少し後のものではないかという研究もあるようじゃ。いずれにしても、こういう民俗芸能は、後を継ぐ人がいなければならない。家を継ぐ長男の人と限らないで、このように子どもたちに教えたりもしている。」

あゆむ「練習が終わって、反省会があるのかな。」

ふみお「踊りをさらに高めるための話し合いや、会のまとまりを強めていく活動だね。」

ミドリ「地区にとってもすばらしいことね。早くコロナも収まって、しっかり見られるようになるといいわあ。」

発行：　上山市教育委員会生涯学習課文化財・文化芸術係　　電話　023-672-1111（内線 314）